～市民のみなさんに、市の取り組みをわかりやすく紹介～

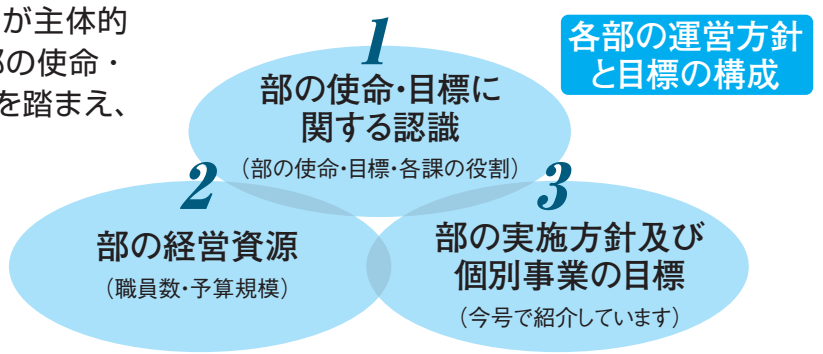
平成21年度「各部の運営方針と目標」を策定しました

市では毎年「各部の運営方針と目標」を策定しています。これは、各部が主体的に部内運営を行うための「部の経営の全体構想」を示すものであり、①「部の使命・目標に関する認識」を明確にし、②職員数、予算規模など「部の経営資源」を踏まえ、③「今年度の実施方針と個別の目標」を設定しています。

また、年度終了後はその達成状況を「自治体経営白書」の中で公表し、検証結果を次の取り組みに反映させています。

今号では、平成21年度「各部の運営方針と目標」の中から、各部が重点的に取り組む主な「個別事業」の概要を紹介します。

問 企画経営室☎内線2150



企画部

●「都市再生ビジョン」に基づき、市民センター周辺地区の整備基本プランの策定に向けて、検討を進めます。

●第4次基本計画の策定に向け、市民参加や計画のあり方について調査研究を進め、新たな行財政改革推進計画とともに、これらの策定方針を定めます。

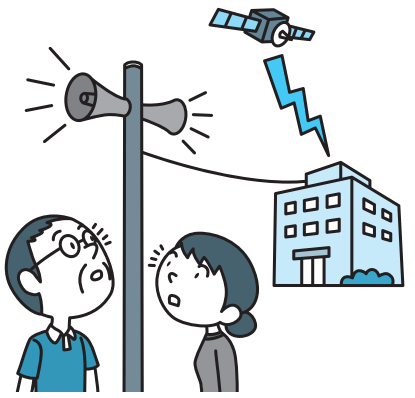
●平成22年度に市制施行60周年を迎えることから、記念事業の準備を進めるとともに、プレイベントを実施します。

総務部

●FAQ（よくある質問と回答）システムを導入し、市民が知りたい情報を簡単に入手できる環境を整えます。

●入札の透明性、競争性、公正性の向上を目指し、公共工事の品質確保を念頭においた制度の改善に取り組みます。

●全国瞬時警報システム（J-ALERT）を導入し、防災対応力の強化に取り組みます。



市民部

●窓口の環境整備や部全体で接遇研修を実施するなど、より快適でスムーズな窓口対応を目指します。

●厳しい経済状況の中で、市税収入を的確に把握し、積極的な収入確保に取り組みます。

●国民健康保険の健全運営を目指すとともに、新たに始まる高額介護合算療養費について積極的に広報活動を行います。

健康福祉部

●新型インフルエンザ行動計画を策定し、流行拡大時にも即応できる体制づくりを進めます。

●地域ケア事業を推進します。井の頭、新川・中原、西部地区の取り組みを進めるほか、新たな地区で設立準備を進めます。また、地域の福祉人財の養成に取り組みます。

●3月に策定した「三鷹市子育て支援ビジョン」を踏まえ、子育て支援環境の整備に向けて次世代育成支援行動計画（後期）を策定します。

生活環境部

●景気が低迷する中、融資あっせんなどの緊急不況対策を行います。また、国や都の制度を活用しながら雇用創出に取り組むなど、市民の就労を支援します。

●10月からの家庭系ごみの有料化に向け、説明会を実施するなど円滑な導入を進めます。また、可燃ごみと不燃ごみの合計で平成19年度比4%の減量を目指します。

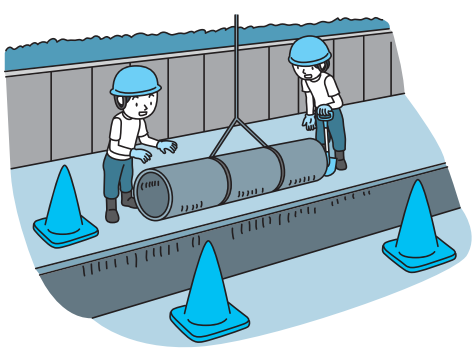
●環境基金の積立金を増額し、新エネルギー導入やごみの減量・資源化に向けた活動など、環境活動への助成事業を新設・拡充します。

都市整備部

●花と緑のまち三鷹創造協会が行う事業を支援します。また、ガーデニングフェスタの開催や街かどの花壇づくりを進めます。

●三鷹駅南口中央通り東地区（三鷹センター周辺・文化劇場跡地）再開発事業について、都市再生機構と連携しながら事業化に向けた検討を進めます。

●都市型水害対策について「道路雨水貯留浸透施設・雨水貯留管」を浸水被害の発生した地域を中心に設置し、雨に強いまちづくりに取り組みます。



水道部

●震災時にも安定した水の供給ができるよう、3,220mの経年管（配水管）の布設替えを行います。

●昭和40年代に布設された初期ダクタイル管について、580mの布設替えを行い、耐震性を高めます。

●都営水道事業の事務委託方式について、平成23年度末までの解消に向けて都と協議を進めます。

教育部

●市立小・中学校をすべて小・中一貫教育校とします。保護者と地域住民が積極的に参画する「コミュニティ・スクール」を基盤とした学校づくりを進めます。

●三鷹中央学園第三小学校の建て替えに取り組みます。今年度は検討委員会を設置し、幅広い意見を取り入れながら新校舎の実施設計を行います。

●鷹南学園第五中学校の体育館の建て替えに取り組みます。今年度は実施設計を行うとともに、仮設体育館の準備に取り組みます。

■「各部の運営方針と目標」の全文は、市のホームページ・冊子でご覧になれます。冊子は、相談・情報センター（市役所2階）、市政窓口、市民協働センターで配布するほか、図書館、各コミュニティセンターでも閲覧できます。ご意見、ご感想などお寄せください。

■平成20年度「各部の運営方針と目標」の達成状況は、7月に発行する「三鷹市自治体経営白書2009」の冊子や市のホームページに掲載する予定です。